

放射能災害専門家による講演会開催について（お知らせ）

標記の件につきましては、米国より 3 名の放射能災害・テロの専門家（それぞれの専門分野では米国で第一人者）が福島原発の事故災害の調査および日本の救急・災害医療関係者への啓蒙のため来日され、福島原発災害の被災地の視察をしたのち、国内数箇所で講演を行います。講演会を下記のとおり開催いたします。

医療関係者としましては、放射能災害への対応方法については非常に有意義な講演会となりますので、貴職より被災活動等災害医療に関心の高い職員および救急医・放射線医・放射線技師・薬剤師等院内職員にご連絡のうえ、平日ではありますが是非ともご参加いただきますようお願いいたします。

記

1. 日時 平成 23 年 4 月 25 日（月）13 時開演（講演時間 2 時間 30 分程度）
2. 場所 仙台徳洲会病院
3. 講師紹介
 - ・ キャスリン・ウラネック医師
NY 市保健局緊急対策室顧問、特に放射能事故及び放射能汚染に対する医療従事者への教育について豊富な経験を持つ医師
 - ・ アンディ・カラム博士
認証保健物理博士、放射能教育に関する豊富な経験を持ち、特にマスクミ対応に豊富な経験を持つ。国際原子力機関（IAEA）のコンサルタント。
 - ・ スティーブン・ベッカー博士
アラバマ大学バーミングハム校公衆衛生学部准教授、リスク・コミュニケーションの第一人者。特に放射能事故における民衆への情報公開と心理社会学及びコミュニティ対応が専門。災害現場での豊富な経験があり、東海村の臨界事故に対応した経験を持つ